



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月6日

上場会社名 久光製薬株式会社 上場取引所 東・名・福
 コード番号 4530 URL <https://www.hisamitsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中富 一榮
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企業戦略室長 (氏名) 磯部 雄一 (TEL) 03-5293-1704
 四半期報告書提出予定日 2023年10月10日 配当支払開始予定日 2023年11月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	66,977	12.3	8,396	70.9	11,640	31.2	8,417	29.4
2023年2月期第2四半期	59,619	1.8	4,913	△13.9	8,870	29.7	6,504	30.0

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期21,400百万円(4.2%) 2023年2月期第2四半期 20,546百万円(102.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	108.34	108.23
2023年2月期第2四半期	81.58	81.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	344,300	275,108	79.2
2023年2月期	313,917	258,408	81.6

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 272,519百万円 2023年2月期 256,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	42.25	—	42.25	84.50
2024年2月期	—	42.50	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,300	3.1	11,800	1.7	14,600	△9.0	10,600	△9.7	136.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	85,164,895株	2023年2月期	85,164,895株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	7,698,854株	2023年2月期	7,420,560株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	77,697,690株	2023年2月期2Q	79,741,127株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予想には、不確実な要素が含まれ、変動する可能性があります。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して異なる可能性もあります。
- ・当社は、2023年10月6日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、医薬品などの創製・育薬・製造・販売を通じて「世界の人々のQOL（クオリティ・オブ・ライフ：生活の質）向上を目指す」を経営理念と定めています。多様化するお客様のニーズに応えるべく、『「手当て」の文化を、世界へ。』という企業使命のもと、当社が培ってきた貼付剤技術をベースに事業活動を積極的に展開してまいります。また、今後も、地球にやさしい「エコ&コンパクト」パッケージの実現等をはじめとする、ESG（環境・社会・ガバナンス）及びSDGs（持続可能な開発目標）を推進する活動を行うことで、持続可能な社会の構築に貢献し、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は以下の通りです。

<売上高>

売上高は、669億7千7百万円(前年同四半期比12.3%増)となりました。

国内市場において、医療用医薬品事業は、2023年4月の薬価改定や継続的な後発品使用促進策による影響を引き続き受けた一方で、2022年6月に腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎への効能追加に関する承認事項一部変更承認を取得した経皮吸収型非ステロイド性疼痛治療剤「ジクトル®テープ」等の売上の増加や、2023年6月に販売を開始した原発性手掌多汗症治療剤「アポハイド®ローション20%」の売上が寄与した影響もあり、前年同四半期比1.7%の増収となりました。なお、「モーラス®テープ20mg」、「モーラス®テープL40mg」の包装袋は、一次包装に医療用医薬品^{※1}で初めてリサイクルPET80%^{※2}を採用した環境に配慮した包装袋として、2023年6月に第47回木下賞「包装技術賞」、同年8月に2023日本パッケージングコンテスト「適正包装賞」を受賞しました。今後も積極的に商品や事業を通じて環境経営を推進し、世界の人々のQOL向上に貢献してまいります。一般用医薬品事業は、新型コロナウイルス感染症に関する行動規制が緩やかになったことに伴う人流の回復や各種イベントの開催に加え、訪日外国人の増加に伴いインバウンド需要が回復傾向にある中で販促活動の強化を行ったことにより、前年同四半期比26.1%の増収となりました。

一方、海外市場において、医療用医薬品事業は、米国で後発品の影響を受けたものの、女性ホルモン製剤の需要の高まりや円安の影響もあり、前年同四半期比8.5%の増収となりました。なお、経皮吸収型デキストロアンフェタミン製剤「XELSTRYM™」は、注意欠如・多動性障害（以下、ADHD）の治療薬として2023年6月に米国で販売を開始しています。本剤はFDAが承認した初の経皮吸収型アンフェタミン製剤であり、本剤の適正使用推進に努めることでADHD患者さんのQOL向上に貢献してまいります。一般用医薬品事業は、積極的な販売活動により米国やアジアを中心としたその他の地域で売上を伸ばしたことに加え、円安の影響もあり、前年同四半期比25.5%の増収となりました。

※1：当社調べ

※2：石油由来原料を削減するために、石油由来原料の部分を再生樹脂に置き換え、石油由来原料と再生樹脂を混合し、再生樹脂の割合を80%にすることで、CO2の排出量を減らすことが出来る材質

〔地域別売上高〕

(単位：百万円)

		2023年2月期 第2四半期実績	2024年2月期 第2四半期実績	増減額	増減率
売上高		59,619	66,977	+7,357	+12.3%
医療用医薬品	日本	26,343	26,801	+457	+1.7%
	海外	7,592	8,239	+647	+8.5%
	米国	5,472	5,522	+49	+0.9%
	その他地域	2,119	2,716	+597	+28.2%
一般用医薬品 その他	日本	8,073	10,180	+2,107	+26.1%
	海外	16,086	20,180	+4,094	+25.5%
	米国	7,723	9,428	+1,705	+22.1%
	その他地域	8,362	10,752	+2,389	+28.6%
その他事業	日本	1,524	1,574	+50	+3.3%

＜利益＞

営業利益は、83億9千6百万円(前年同四半期比70.9%増)となりました。その主な要因は、売上の増加に伴い売上総利益が増加したことによるものです。なお、販売費及び一般管理費は、302億5千万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。

経常利益は、116億4千万円(前年同四半期比31.2%増)となりました。その主な要因は、営業利益の増加によるものです。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、84億1千7百万円(前年同四半期比29.4%増)となりました。その主な要因は、経常利益の増加によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表の概要は以下の通りです。

＜資産、負債、純資産の状況＞

総資産は、前連結会計年度末と比較して303億8千3百万円増加し、3,443億円となりました。主な増減は、現金及び預金(48億8千9百万円増)、その他流動資産(76億2千1百万円増)及び投資有価証券(61億6千2百万円増)です。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して136億8千3百万円増加し、691億9千2百万円となりました。主な増減は、その他流動負債(90億8千8百万円増)及びその他固定負債(20億3百万円増)です。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して167億円増加し、2,751億8百万円となりました。主な増減は、利益剰余金(51億3千3百万円増)、その他有価証券評価差額金(45億4千2百万円増)及び為替換算調整勘定(81億9千2百万円増)です。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して157億6千1百万円増加し、811億8千6百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは78億5千1百万円の収入(前年同四半期は81億6千2百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益(116億3千8百万円)、減価償却費(24億7千3百万円)、その他営業活動による支出(47億9千2百万円)、法人税等の支払額(19億6百万円)などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは104億4千3百万円の収入(前年同四半期は179億2千8百万円の支出)となりました。これは主に、定期預金の減少額(149億4千3百万円)、有形固定資産の取得による支出(46億8千6百万円)などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは48億4千1百万円の支出(前年同四半期は36億4千1百万円の支出)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出(13億3千6百万円)、配当金の支払額(32億8千7百万円)などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回発表時(2023年4月13日)の予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	122,154	127,043
受取手形、売掛金及び契約資産	40,014	41,967
有価証券	14,714	14,386
商品及び製品	10,330	11,419
仕掛品	562	804
原材料及び貯蔵品	8,030	8,324
その他	3,629	11,251
貸倒引当金	△261	△288
流動資産合計	199,174	214,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,980	17,492
その他（純額）	29,229	33,476
有形固定資産合計	43,209	50,968
無形固定資産		
販売権	394	370
その他	551	554
無形固定資産合計	946	925
投資その他の資産		
投資有価証券	60,845	67,007
その他	9,948	10,698
貸倒引当金	△207	△207
投資その他の資産合計	70,586	77,498
固定資産合計	114,742	129,391
資産合計	313,917	344,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,351	9,921
電子記録債務	6,567	6,914
短期借入金	1,071	1,071
未払法人税等	2,338	3,037
賞与引当金	1,340	1,252
その他	22,908	31,997
流動負債合計	42,578	54,194
固定負債		
長期借入金	147	112
退職給付に係る負債	8,408	8,507
その他	4,375	6,378
固定負債合計	12,931	14,997
負債合計	55,509	69,192
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,473	8,473
資本剰余金	2,361	2,361
利益剰余金	235,569	240,702
自己株式	△27,196	△28,533
株主資本合計	219,208	223,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,042	21,584
土地再評価差額金	3,403	3,403
為替換算調整勘定	15,819	24,012
退職給付に係る調整累計額	631	514
その他の包括利益累計額合計	36,896	49,515
新株予約権	260	291
非支配株主持分	2,042	2,296
純資産合計	258,408	275,108
負債純資産合計	313,917	344,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	59,619	66,977
売上原価	25,156	28,330
売上総利益	34,462	38,646
販売費及び一般管理費	29,549	30,250
営業利益	4,913	8,396
営業外収益		
受取利息	202	1,128
受取配当金	501	567
為替差益	3,146	1,305
その他	224	335
営業外収益合計	4,074	3,336
営業外費用		
支払利息	4	7
持分法による投資損失	69	22
保険解約損	—	47
その他	43	15
営業外費用合計	118	91
経常利益	8,870	11,640
特別利益		
固定資産処分益	142	—
特別利益合計	142	—
特別損失		
固定資産処分損	77	2
特別損失合計	77	2
税金等調整前四半期純利益	8,935	11,638
法人税等	2,215	2,967
四半期純利益	6,720	8,671
非支配株主に帰属する四半期純利益	215	253
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,504	8,417

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	6,720	8,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,015	4,422
為替換算調整勘定	12,996	8,303
退職給付に係る調整額	△160	△93
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	97
その他の包括利益合計	13,826	12,729
四半期包括利益	20,546	21,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,392	21,036
非支配株主に係る四半期包括利益	153	364

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,935	11,638
減価償却費	2,160	2,473
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	187	72
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△68	14
受取利息及び受取配当金	△704	△1,695
保険解約損益 (△は益)	—	44
支払利息	4	7
持分法による投資損益 (△は益)	69	22
売上債権の増減額 (△は増加)	3,598	△248
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,704	△342
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,857	1,079
その他	△4,157	△4,792
小計	10,179	8,274
利息及び配当金の受取額	870	1,499
利息の支払額	△4	△7
法人税等の支払額	△2,881	△1,906
役員退職慰労金の支払額	△0	△7
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,162	7,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△12,169	14,943
有価証券の増減額 (△は増加)	1,740	171
有形固定資産の取得による支出	△2,341	△4,686
無形固定資産の取得による支出	△27	△4
投資有価証券の取得による支出	△5,507	△8
投資有価証券の売却による収入	30	—
保険積立金の解約による収入	—	27
その他	346	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,928	10,443
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△2
長期借入金の返済による支出	△35	△33
自己株式の取得による支出	△0	△1,336
配当金の支払額	△3,357	△3,287
非支配株主への配当金の支払額	△61	△108
その他	△185	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,641	△4,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,932	2,307
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,475	15,761
現金及び現金同等物の期首残高	86,247	65,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	78,771	81,186

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、取得株式数2,000,000株、総額10,000百万円を上限として2023年7月14日から2024年2月29日の期間で自己株式の取得を進めています。これにより当第2四半期連結累計期間において自己株式を277,400株取得し1,333百万円増加しました。これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式が28,533百万円となっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

さあ！全力発揮。気になるそこに、手当てのチカラを。



Hisamitsu®

TEAM JAPANオフィシャルパートナー
(外用鎮痛消炎剤、筋肉疲労ケア製品、医療用サポーター)



久光製薬はTEAM JAPANを応援します。

